



対人援助学マガジン読書会報告

対人援助学マガジン読書会（第6回）実施報告

2022年11月24日（木）の21時より、第6回目の「対人援助学マガジン読書会」をオンラインで開催しました。

第6回の指定図書は、玉村文さんの「応援、母ちゃん！」でした。玉村さんは対人援助学マガジン41号から連載をスタートしており、2022年11月現在9回まで連載されていました。連載開始時は第1子を産まれた後から。その後2年半の連載の中で、生まれてきたお子さんはどんどん成長し、そして第2子も生まれて…と刻々と変わりゆく状況の中での、まさにリアルタイムの連載です。

読書会では、子育てをしながらの仕事をする中でのご苦労や、家庭内での家事分担のことなど、「現代の子育て家庭の実際」について、参加者も含めて実体験や考えを述べあいました。この報告に細かくは書ききれませんが、「もっと父親も育児参加を！」とか「もっと働きやすい社会を！」という一般論ではない、個別的な家族や夫婦のあり方について考えていく時間となりました。

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました！次回は2023年の夏ごろの予定です。

第6回読書会指定図書執筆者：玉村文さん

地域若者サポートステーションを経て、現在、南青少年活動センター勤務、アフターケア担当。33歳で初めて出産し一児の母。母親業と対人援助の仕事を生ながら生きる日常を書いていこうと思います。趣味は、ヨガとイラスト描き（対人援助学マガジン41号執筆者短信より抜粋）。

連載では、ご自身の子育てを題材に、子育て場面の「あるある」を描きながらも、連載のテーマでもある「応援」や、他者の助けを受け止める力「受援力」など、援助職の視点も交え、まさに援助職者の子育てのリアルがあふれる連載となっている。

（編集部）